

## 本態性血小板血症合併妊娠の管理を受けた患者さんへ (臨床研究に関する情報)

現在、全国の産科施設において以下の臨床研究を予定しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 本態性血小板血症合併妊娠の予後についての検討

[研究機関] 北海道大学病院産科

[研究責任者] 水上 尚典 (産科・科長)

### [研究の目的]

本態性血小板血症は、血小板数の増加、巨核球の過形成、出血や血栓傾向を特徴とします。過去の文献からは本疾患に罹患している女性が妊娠した場合に流産や死産が起こる率が少し高くなる可能性があります、そのことに関する詳細な研究はまだ存在しません。そこで、今回の研究では2003年1月1日～2013年7月31日の約10年間に当院で妊娠／分娩された同疾患に罹患している方の情報について検討し、本態性血小板血症合併妊娠のよりよい管理につなげることを目的としました。

### [研究の方法]

#### ●対象となる研究資料

2003年1月1日～2013年7月31日の約10年間に当院で妊娠／分娩／流産された同疾患に罹患している方の臨床情報

#### ●利用する情報

- ①本態性血小板血症の発症および診断時期
- ②妊娠／分娩時期 (本態性血小板血症の診断時期との関連)
- ③分娩／流産時の臨床情報 (その妊娠週数、児の情報、血算、凝固系などの検査データ)
- ④妊娠合併症の情報

### [個人情報の取り扱い]

私どもが利用する情報には、患者さんを直接同定できる個人情報は含まれていません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

### [問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目  
北海道大学病院産科 担当医師 水上 尚典  
電話 011-706-6932 FAX 011-706-6932